

富山県立中央病院医学雑誌投稿規定

1. 投稿資格

- 1) 本誌に掲載する論文の筆頭著者は、富山県立中央病院職員及び関係者とし、共著者は原則として富山県立中央病院職員及び関係者に限る。
- 2) 論文の内容が過去に雑誌に掲載されておらず、現在も掲載が予定されていない（投稿中のものも含む）未発表のものに限る。

2. 論文の種類

論文の種類は総説、原著、症例報告、看護研究とする。

3. 倫理面での配慮など

- 1) 臨床研究など人を対象にした研究では、ヘルシンキ宣言（ヒトにおける生物学医学研究にたずさわる医師のための勧告）に沿って行うこととし、「人を対象とする医学系に関する倫理指針」に則った倫理的配慮に留意する。
- 2) 患者の診断や治療に際して保険適用外の検査や治療薬投与を行うなど倫理審査を必要とする場合には、当院の倫理委員会の承認を得てから投稿する。
- 3) 投稿論文の研究について、他者との利害関係の有無すなわち利益相反（conflict of interest）に関して、論文末尾、引用文献の前に明記する。

- ① 利益相反がない場合は、「著者の利益相反 conflict of interest（COI）開示：本論文の研究内容に関連して特に申告なし」と記載する。
- ② 研究内容に関わる助成や支援があった場合は、例として「著者の利益相反 conflict of interest（COI）開示：富山太郎：研究費・助成金（××製薬）」などと記載する。

4) 研究参加者（患者等）の個人情報保護のために、以下の指針を遵守する。

- ① 患者等個人の特定が可能な氏名、診療録番号、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。
- ② 患者の居住地は記載しない。ただし、疾患の発生場所が病態に関与する場合に限り、都道府県名と市名までに限定して記載してよい。
- ③ 日付は、原則として初診時をX年とし、X-3年、X+2年などと記載する。ただし、日付が病態に関与する場合に限り、日付を記載してよい。
- ④ 患者の生活歴、現病歴および家族歴に関する情報を記載する際には、患者を特定することのできないように十分配慮し、病態の本質と関係のない箇所を適宜変更する。固有名詞に関しては、イニシャルではなくアルファベット順で記載する（例：富山高校と金沢大学を卒業した場合、T高校とK大学を卒業と記載するのではなく、A高校とB大学を卒業と記載する）。
- ⑤ 他院で診断・治療を受けている場合、その医療施設名ならびに所在地は記載せず、医療施設が複数である場合にはアルファベット記号で順に記載する。ただし、紹介元の記載が病態に関する場合に限り、記載してよい。
- ⑥ 他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定され得る場合、診療科名は記載しない。
- ⑦ 症例を特定できる生検、剖検、画像診断等に含まれる番号などは削除する。
- ⑧ 顔写真を掲載する際には目を隠す。眼疾患の場合は顔全体が分からないように眼のみの拡大写真とする。
- ⑨ 上記①～⑧の指針を満たしても患者個人が特定される可能性のある場合は、発表に際してその可能性のある旨を説明した上で、患者本人から同意を得なければならない。未成年者、認知症患者、知的障害の患者など本人のみでは同意能力がないとみなされる患者、あるいは一部の精神疾患患者など同意を取得しようとする行為自体が病態に悪影響を及ぼす可能性のある患者を対象とする場合は、患者の最大の利益を確保しつつ、代諾者からの同意を得なければならない。また、本人のみでは同意能力がないと見なされる場合にも、患者の理解能力に応じて説明し、可能な範囲で患者本人の理解を得るように努める。本人の拒否の意思が確認できる場合には、投稿は許されない。
- ⑩ 患者個人は特定されうるが、患者の病態や代諾者不在などの理由で患者あるいは代諾者に対して研究発表に関する説明を行えない場合、富山県立中央病院の倫理委員会から研究発表について承認を受けなければならない。
- ⑪ 患者あるいは代諾者から同意を得た場合はその旨を、当院の倫理委員会から承認を得た場合はその旨を、いずれも論文中に明記する。
- ⑫ 論文中の個人情報の保護に関して問題が発生した場合は、著者がその責任を負う。

4. 執筆規定

- 1) 投稿論文は、原則として400字で15枚、図表10枚以内とする。
- 2) 論文は、A4版用紙を縦長に使用し、横書きとする。文体、用字を統一し、原則として12ポイント以上の明朝体を用いる。英文・数字は半角を使用する。
- 3) 論文の第1頁目には1) 論文題名、2) 著者名および部署名、3) 日本語20字以内のrunning title（刷り上がった時に欄外の上部に記載される短い表題）、4) 代表著者の連絡先（内線番号）を記載する。第2頁目には、1) 400字以内の要旨（和文抄録）、2) 3語以内のkey words（英語または日本語）を記載する。第3頁目以後は連続して頁数を記入し、本文を記載する。
- 4) 本文の形式は、原著論文については、はじめに、対象および方法、結果、考察、おわりに、文献の順に記載する。症例報告については、はじめに、症例、考察、おわりに、文献の順に記載する。なお、総説についてはこの限りでない。
- 5) 文献、外国人名、地名、薬品名は必ず原語を用いる。また、本文中で専門的略語を使用する場合は、初出の箇所に正式名を書き、それに続いて略語を括弧内に入れて示すこと。
- 6) 度量衡は、C.G.S.単位を用い、km, m, cm, L, dL, mL（ccではなく）、kg, g, mEq/L, mg/dL（mg%ではなく）を用い、数字は算用数字（1, 2, 3など）を用いること。
- 7) 本文の句読点は全角の「, .」を用いる。
- 8) 図（写真）表の原稿には、必ず表題（図では下に、表では上に）をつけること。なお、カラー写真は印刷上制約があるので、編集委員会で採否を決定する。
- 9) 図表などの挿入箇所は、本文の欄外に図○、表○と朱記すること。必要に応じて図の欄外に天地の指示を朱記すること。
- 10) 図表の説明文は、本文最終頁に続き、表1：・・・、表2：・・・；図1：・・・、図2：・・・と各々まとめて記載する。
- 11) 表はヨコ罫線のみを用い、原則としてタテ罫線は用いない。
- 12) 編集委員会では、本雑誌の統一をはかるため記号・図表などの体裁を変更することがある。
- 13) 他誌に掲載された図表をそのまま転載使用する場合は、投稿前に著作権者の承諾を得てから投稿すること。
- 14) 文献は本文の引用箇所に順次番号を付し、本文の末尾に次の形式に従い引用順に記載する。
 - イ) 学術雑誌論文は、著者名（3名以内、それを超える場合は、他またはet alとする）：標題、雑誌名、発行年（西暦）；巻：頁－頁の順で記載する。外国語雑誌はIndex Medicus、邦文誌は日本医学図書館協会編「日本医学雑誌略号表」による略名を使用すること。

例：小田一郎，西元史哉，松田尚久，他：内視鏡医が生検診断に求めるもの。病理と臨床2005；23：806-810

Cohen MB, Beckstead JH, Ferrell LD, et al：Enzyme histochemistry of hepatocellular neoplasms. Am J Surg Pathol 1986；10：789-794
 - ロ) 単行本は、著者名（3名以内）：標題、書名、編集者名、巻数、版数、発行所、発行地（外国のみ）、発行年（西暦）、（必要なら引用頁を最後に）の順に記載すること。

例：Kurman RJ. Ed: Blaustein's Pathology of the Female Genital Tract. 5th ed., Springer-Verlag, New York, 2002

Weinstein L, Swartz MN.: Pathologic properties of invading microorganism. In: Sodeman WA, ed. Pathology Physiology: Mechanisms of Disease. WD Saunders, Philadelphia, 1994, 457-472

藤田尚男，藤田恒夫：標準組織学各論。第3版，医学書院，1992
 - ハ) 電子文献（Web）の引用は下記のごとく記載すること。

例：国立大学医学部附属病院長会議常置委員会：医療事故防止のための安全管理体制の確立について－「医療事故防止方策の策定に関する作業部会」中間報告，2000年5月。
http://www.umin.ac.jp/nuh_open/iryujiko.htm
- 15) 論文を投稿する際は、富山県立中央病院医学雑誌投稿チェック票（別表）のチェック項目を点検する。
- 16) 投稿論文は、本文、図、表および投稿チェック表をまとめて、病院電子カルテ共有フォルダ内にある医学雑誌原稿フォルダの所定の箇所に入力するとともに、それらを1部印刷して編集委員会に提出する。
- 17) 論文の採否は、編集委員会が決定する。論文は編集委員により査読され、原稿の体裁、内容などについて著者に修正を求めることがある。
- 18) 校正は、原則として、初校だけを著者が行うこととする。
- 19) 掲載論文の著作権は富山県立中央病院に帰属する。

（令和5年3月31日）

富山県立中央病院医学雑誌 投稿チェック票

貴稿が富山県立中央病院医学雑誌の投稿規定に沿ったものであるかを確認し、原稿に添付してください。

1. 投稿に際して、共著者の承諾を得ていますか
2. 二重投稿になっていませんか
3. 投稿論文が倫理上の問題および個人情報の保護について十分配慮されていますか
 - 研究実施に際し、予め所属機関の倫理委員会の承認を得ましたか
 - 該当しない
 - 利益相反について明記していますか
 - 患者の個人情報が含まれる場合は、論文投稿に際して患者もしくはその代諾者に文書による承諾を得ましたか
 - 該当しない
 - 患者個人は特定されうるとき、患者の病態や代諾者不在などの理由で患者あるいは代諾者に対して研究発表に関する説明を行えない場合、当院の倫理委員会から研究発表について承認を得ましたか
 - 該当しない
 - 患者あるいは代諾者から同意を得た場合はその旨を、当院の倫理委員会から承認を得た場合はその旨を、いずれも論文中に明記しましたか
 - 該当しない
4. 枚数制限について
 - 本文は 400 字詰原稿用紙 15 枚以内になっていますか
 - 図表は 10 枚以内になっていますか
5. 要旨は 400 字以内で記載していますか
6. running title を記載していますか
7. key words (3 項目以内) を記載していますか
8. 著者名および所属の記載形式は本誌の例と同じになっていますか
9. 原稿にページを記載していますか
10. 本文の句読点は、「, .」になっていますか
11. 図表には番号および表題を表記していますか
12. 本文の欄外に図表の挿入箇所を朱記していますか
13. 引用文献は投稿規定に沿って表記していますか
14. 全ての共著者が論文の内容を把握・確認し掲載に同意していますか
15. 他誌に掲載された図表をそのまま転載使用する場合は、投稿前に著作権者の承諾を得ていますか。
 - 該当しない
16. 診療科の主任部長（医長）、あるいは部署の責任者の校正・許可済みですか

論文表題

代表著者名

共著者のうち corresponding author はどなたになるのか記入ください。 ※各診療科の専門医資格をお持ちの副医長以上の先生に限定します。
